



まず、所在地域を説明させていただきますと、本通（国道12号線）をはさんで、10丁目南から13丁目南の一本仲通まで、と、10丁目北から14丁目北（月寒川）までの一本仲通までという、まことに不自然な地域となっております。これは会設立時の事情によるもので、昭和31年、国道12号線の完全舗装を機に、それまで明治の開拓時代よりあった5戸を1組とした互助会をかね、本通部落会を時代にあわせて分割し、町内自治会組織の近代化を図ったと云われております。

設立時における、東栄会総戸数、南北あわせて17戸だったそうです。そのなごりが、国道をはさんだ地域組織として現在に至っております。「本通部落会が一番東に位置し東（ひがし）が栄（さかえる）ところは永遠に不滅である」との思いをこめて東栄会にしたと聞いております。

前述したとおり、せまい地域のなかでの町内会で現在、加入戸数200所帯で運営しております。おかげさまで、小さな組織ですが、非常に風通しのよい町内会だと自負しております。もうこ三軒両隣ではないですが、お互いの顔、名前が一致するのは勿論、家族の状況も大雑把に、お互い様のおつきあいが、私共東栄会のすべてです。

活動の一部を紹介しますと、花壇の植栽からはじまった本通の美化活動は、毎月1日（5月から11月迄）朝6時より1時間、40年間続けております。レクリエーションでは、いちご狩り、さくらんぼ狩り、りんご狩り、日帰り温泉旅行等、毎年いそがしいスケジュールで活動しております。毎月第1月曜日、午後1時からの女性部の定例会は25年も続き、その時に合った新しい提案をしてくれています。

小さい組織ではありますが、「老・壮・青」が思うことを話しあって、物ごとを笑いながら仲良く進めていく、これからもそういう東栄会が続くと思います。

以上、東栄会の自己紹介でした。



東白石地区の各種関係団体訪問

“どのような活動をしているのですか……？”

第2回目は東白石地区更生保護女性会の活動をご紹介します。

東白石地区更生保護女性会 地区代表 吉村 久子

何故、悪いことをした人を保護するのですか？

ミニ集会で一番多い質問です。

「更生保護」とは厚生ではなく、更正でもなく、更生、この二字を一字にすると、「甦る」になります。罪を犯した人もそれぞれの償いをした後、いずれ社会に戻ってきます。そのときに「甦り、立ち直りの再出発を上からの目線ではなく、見守りの温かいまなざしと心で迎え入れられる地域でありたい」と、行動している女性だけの更生保護ボランティアの団体です。

歴史は古く明治16年、大阪で個人の方が孤児院を設立され、その後全国に少年補導婦人会が結成、昭和37年札幌に更生保護婦人会が設立、47年区制にともない順次各区に分離独立し設立、白石は53年4月58名の会員で発足、東白石から6名の女性民生委員が参加しました。現在東白石地区会員数は23名です。

○活動の内容

・三つの少年院に対しての協力

保護観察所にきた少年院生達に手づくりの家庭の味を共に食べながら雑談、励ましの対話をしています。又運動会には一緒に競技に参加。学習発表会、成人式など礼儀正しい様子にびっくり。

・刑務支所の行事参加

毎月の誕生会は40人前後居るので会員も6名参加。運動会は見学だけ。盆踊りはこちらも浴衣を着て輪の中にはいり一緒に踊ります。500人からの踊りは壮観です。

・刑務所矯正展、秋の墓参、赤い羽根街頭募金活動等の参加協力

・各種研修会に多数の会員が参加、資質の向上に努めています。

・保護司会との交流。青少年育成研修、ミニ集会など。

更生保護女性会の活動を一緒にしてみませんか

今、更生保護女性会員がいな町内会が多くあります。犯罪のない明るい町にするために、ご協力をお願いします。

関心のある方、興味のある方は東白石まちづくりセンター電話861-9262番にお問い合わせ下さい。

平成23年度 情報ひろば

12/13（火） にこここサロン（本郷小学校ミニ児童会館）
12/15（木） 歳末特別警戒パトロールの実施スタート
12/24（土） クリスマス会（トナバクキッズフェスティバル）
（東白石児童会館）

1/1（日） 東白石通信第15号発行
1/10（火） にこここサロン（本郷小学校ミニ児童会館）
1/26（木） 違法駐車等合同パトロールの協力（東白石地区Aコース）
1/29（日） 親子でチャレンジ（東白石青少年育成委員会主催）

2/14（火） にこここサロン（本郷小学校ミニ児童会館）
2/23（木） 違法駐車等合同パトロールの協力（東白石地区Bコース）
3/13（火） にこここサロン（本郷小学校ミニ児童会館）
3/21（火） 違法駐車等合同パトロールの協力（東白石地区Cコース）

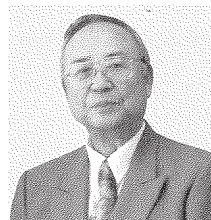
※夜間防犯パトロール（東白石地区全域）
徒歩パトロール（水曜日）と青色灯パトロール（金曜日）は交互の週で実施。

東白石通信

東白石まちづくり実践会
とんぱくニュース
札幌市白石区本通13丁目南10-1
東白石まちづくりセンター内
TEL861-9262 FAX861-4369

年頭挨拶

東白石地区町内会連合会 会長 山中 忠典



皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年中は皆様方のご協力を賜り誠にありがとうございました。お陰様で平成23年も無事終了し、深く感謝する次第でございます。

東白石地区町内会連合会の昨年一年を振り返ってみますと、大きく分けて5つの事業が新しくありました。

1つ目には、3月11日に起きた東日本大震災に対する義援金をふるさと会に10万円、日本赤十字に10万円、共同募金に10万円、合計30万円を寄付することが出来ました。

2つ目には、白石区の町内会に加入している世帯が50%を切り47%と少ないという事で、本郷町内会にモデル町内会として加入促進事業を展開して戴き、現在鋭意努力し会議を続けていております。加入促進にはずみがつけばと期待しております。

3つ目には「健康はつつつフェア」を実施出来たことです。介護予防センター本通の柴田さんとタイアップして、東白石地区の皆様を対象として健康に美容に盛りだくさんに行なわれ、来年も実施してほしいと要望がありましたので、今年も開催したいと思っております。

4つ目にはタイラアートでサイクリングロードのトンネル内の壁につけられるイタズラ書きを無くそうと、白石ライオンズクラブの応援をいただき実施する事が出来ました。11丁目フジトンネルの片面を完成させ、今年と同じトンネルの片面を完成させる予定です。

5つ目には東白石会館の床を改修した事です。行事の都度ジュウタンを敷き後片付けをしておりましたが、衛生的にも作業的にも問題があることからクッションフロアーに改修し使い勝手をよくしました。

以上の様に、平常の事業の外に上記事業が皆様のご協力、実施することが出来ました。

今年も皆様方といっしょに考えて、東白石地区を安全で安心な街にして行ければと思っており、また、老後を安心して生活出来るよう福祉の面に力を入れていっしょに協力仕合って頑張っていきたいと思います。



福まち学習会を終えて ～今お互い様の気持ちが求められています～

福祉のまち推進センター 事務局長 中 島 亮 子

“社会福祉協議会” “ふくまち” って？

日頃何らかの形で地域活動に関わってる方でも改めて問われた時 “何” ときちんとした理解はなされていないのでは…。今回の「ふくまち学習会」も、何だかわからないまま、参加された方が殆どだったと思います。

学習会の目的は、助け合い活動の理解、ふくまち活動への参加のきっかけ、新たな担い手確保、地域の支え合いの大切さで始まりました。3日間の学習会の内容については、別の機会に詳しく聞いて戴きたいと思います。

この学習会で感じた事は、高齢化社会の進む中、今東白石地区のふくまちで行っている「75歳以上のお一人暮らしの方を対象とした友愛訪問・安否確認」の必要性・拡充が大きく求められていることです。町内に孤独死を實際、目の当たりにした参加者も何人おりましたが『日常、お隣の方を気にかけていますか？』という問いかけに考えさせられ、心苦しく思いました。

最近、個人情報という言葉だけが先行し、何ら機能していない現状があります。東北大震災等の自然災害の怖さを実感させられている今こそ町内会・民生委員・ふくまち・行政が横のつながりを強くし、かつ情報を共有することで福祉の充実をはかることが大事な事と強く感じ、その為にも福祉推進員制度への期待が大きいものがあります。

最後になりますが、この学習会を終えて「気に掛ける・受け止める・つなぐ」という助け合い活動の言葉が印象深くはつきりと参加者の心に残った事と思います。

ほんのチョットの優しい気持ちで今後もボランティアを続けていきたいと改めてみなさんが感じた学習会だったと思います。

新しい時代に合った町内会への改革と加入促進

始まりは本郷町内会開町50周年を迎えた後でした。少子高齢化が進み、無縁社会の中での孤独死が社会問題となる中、本郷地域も例外ではない事が、その後の町内会役員の研修会や実態調査で分かってきました。さらに、町内会への加入率が低い事も問題でした。このようにして「町内会活性化プロジェクト」の構想が出されました。その後、白石区の地域診断事業に参加した事も後押しとなり、「ぬくもりにある絆社会」を目指して「顔の見える関係づくり」をすることで「加入促進」に取り組むことになりました。

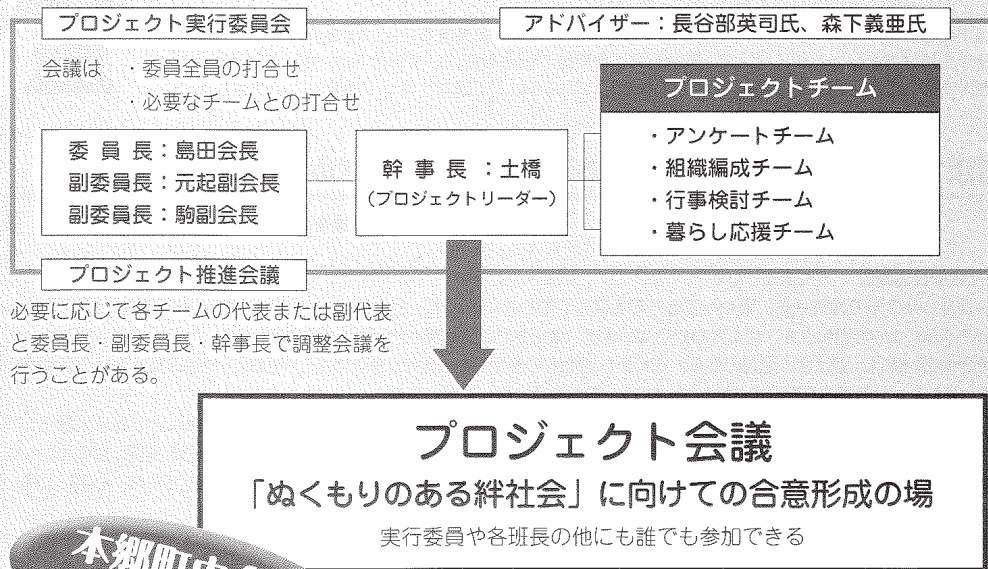
本郷町内会活性化プロジェクト

目 標：「ぬくもりのある絆社会」 「安全・安心・明るい町内会」

お互いに支え合う地域（みんなの生きがいづくりにもなる）
子供も大人も参加して未来を創る地域（話し合いの機会を多く）
次世代のためによいものを残す地域（支え合う人間関係）

「ぬくもりのある絆社会」に向けての活動体制

（身の丈に合った活動を急がずに）
・みんなで（自分たちで）創ろう
・地域の良い物を生かそう
・創る過程も楽しもう
・顔の見える関係づくりをしよう



本郷町内会の
取り組み

町内会行事と加入率アップの取り組み

旭町内会の山中会長さんに東白石通信編集委員がインタビューしました。

旭町内会は五つの区に分かれていて、多くの住民の方々が町内会活動の協力員として参加をすると共に、子供も大人も楽しめるたくさんの行事を企画して、出会いの場を広げている町内会でした。その目的は、「町内に住んでいる人みんなが仲良く支え合って暮らせるように、そして、一人でも多くの方に町内会員になって頂いて、みんなで住みよい地域をつくることです。この事は同時に災害などのいざという時の備えにもなります。」と山中会長さんは話されました。さらに、「昭和32年に発足した町内会ですが、昔は隣近所が加入を勧めてくれました。今はほとんどなくなりましたので、魅力ある町内会にして、協力員や趣味の会等のグループの仲間に誘ってもらいます。」ということでした。

魅力ある町内会への挑戦として、協力員を募り、さまざまな楽しい行事を下記のとおり実施しています。今回、企画・資金集めのアルミ缶回収から3年かけ、ついに公園にイルミネーションが輝くことになりました。

＜協力員体制＞ ・4か所の公園の清掃隊員（45名登録） ・資源回収隊員（9名登録）
・アルミ缶回収 ・老人クラブと共に午後4時の見守り隊 ・第2日曜日の道路清掃
・子供の新年会（役員以外のお母さんで企画運営）
・お祭りの櫓（近所のお父さん達で）

＜楽しい行事＞
・文化祭 ・バイオリンコンサート ・パークゴルフ（年2回）
・日帰り旅行（70名位の参加） ・女性部の日帰り旅行 ・その他
このような、活動の度に声掛けをして20名程の会員が増えました。

旭町内会の
取り組み

町内会への加入・参加のご協力お願い

私達の東白石地区町内会連合会は、16の単位町内会で成り立っています。それぞれの町内会では、この地域にお住まいの方々の親睦や、安心で安全な暮らしのために、いろいろな地域の課題に取り組み活動しています。

※町内会はこんな活動をしています

- 環境・衛生の活動
ゴミステーションの清掃など維持管理。除雪パートナーシップ制度などの利用による除排雪。街路灯公園等の管理。資源回収、リサイクル推進の活動、一斉清掃活動、緑化活動など。
- 防犯・防災の活動
自主防災・防犯パトロール隊の運営と夜間見回り活動。防災・防犯訓練や非常食の備蓄管理の実施。街頭啓発など交通安全運動など。
- 福祉の活動
子育て支援活動。お年寄りや障がいのある方を支援する活動。
- 健康面の活動
ラジオ体操の実施。町内会運動会の実施など。
- 親睦交流活動
文化サークル・教室の実施。お祭り・盆踊り・もつちき大会等の実施。

○その他の活動

町内会会報などの発行・回覧。さっぽろ広報誌の配布。会館運営など。

私達の生活は、町内会と大きく関わりを持っています。それぞれの町内会をさらに安心で安全な住みよい地域にしていくために、町内会へのご加入と活動へのご参加をお願い致します。

※町内会への加入のご相談は……

お住まいの地域の単位町内会の役員、または東白石地区町内会連合会（事務局：東白石まちづくりセンター）TEL 861-92622にお問い合わせをお願いします。

●町内会行事や東白石地区の行事
に参加しよう

●町内会に加入しよう

●仲間とグループをつくって活動しよう

お誘い
みんなで楽しく